

## 第 10 回日本 OSS 推進フォーラム 幹事団・顧問団会合の開催

オープンソースソフトウェア（OSS）の普及拡大のために自由な立場で議論し、課題解決に取り組んでいる日本 OSS 推進フォーラム（代表幹事：株式会社 NTT データ 取締役常務執行役員 栗島 聡）は、この度、株式会社 NTT データ、日本情報システム・ユーザー協会（JUAS）、日本電気株式会社、株式会社日立製作所、富士通株式会社の企業・団体のトップから構成される幹事団および産学の有識者からなる顧問団による第 10 回会合を 3 月 19 日に経済産業省にて開催しました。

今回の会合では、10 年目の節目となるフォーラム活動を見直し、第四世代 OSS と本フォーラムが呼んでいる最新技術でオリジナリティのある OSS を利活用したスマート社会やオープンイノベーションの実現を目指し、フォーラムに参加する多くの会員に支えられる協調体制を強化します。

具体的には共同事務局依託方式の予算運用から、会員（A、B 会員）の年会費による予算運用に変更し、会員数を拡大し、活動規模・影響力を向上させ、会員のメリットを拡大させていきます。

活動内容は、OSS 利活用の浸透と普及活動、OSS 開発コミュニティや他団体との連携、経営層との OSS 戦略の共有、国際競争力の確保をめざした企業連携および人材育成に取り組みます。

一昨年に創設した「クラウドセキュリティ部会」は当初の目標を達成し、クラウド関連の部会は「クラウド技術部会」に集約し、「クライアント部会」、「アプリケーション部会」、「組み込みシステム部会」を合わせた 4 部会体制での 2013 年度活動計画が承認されました。

本フォーラムは、我が国の OSS 利用促進と OSS グローバルコミュニティへの貢献に向けて、積極的に取り組んでおり、各 WG では日本国内のみならず中国、韓国と協調する北東アジア OSS 推進フォーラム（昨年は 2012 年 11 月に沖縄で開催、2013 年秋は韓国にて開催予定）において、効率的で実効性のある活動ができるように推進していきます。

※日本 OSS 推進フォーラムは、経済産業省がオブザーバとして参加しています。また、株式会社国際開発センター（代表取締役社長 竹内 正興）が事務局を務めています。



## 各部会の目標および 2013 年度の活動について

### 1 クラウド技術部会

クラウド部会は、OSSクラウドの技術調査とその公開による業界への貢献活動を行います。

具体的には、OSSクラウドの企業内での活用を促進するために必要な調査や検証を行い、各種OSS団体との連携活動をすすめ、事例収集や各種ドキュメントの公開などを進めます。

また、若手技術者育成活動を継続し合宿による集中検討を計画し、ソーシャルクラウドへのOSS適用性検証や、クラウド関連OSSの標準化状況の調査などを進めます。

### 2 クライアント部会

クライアント部会は、東日本大震災からの復興に資する支援活動を継続し、業務用として利便性の高いクライアント PC の普及推進、および、相互運用性と生産性が高い業務用ソフトウェア環境の普及推進活動を行います。

2013 年度においては、以下の活動を行います。

- ・ OSSオフィスソフト等の配布と利用のための無償支援
- ・ ユーザー視点でのOSSに移行しない理由の把握
- ・ 技術と人材と制度での課題解決に向けた総合的な取り組み

### 3 アプリケーション部会

アプリケーション部会は、2012 年度までの活動において、OSS アプリケーションを開発し、SaaS ビジネスモデルを検討し、OSS アプリケーションのビジネス事例を集め、対外広報をしてきました。

2013 年度は引き続き OSS アプリケーションのビジネス事例収集と、対外広報活動を実施するとともに、参加メンバのスキル強化のための研修会を実施し、OSS アプリケーションの更なる利用拡大を目指します。

2013 年度においては、以下の活動を行います。

- ・ 開発したソフトをOSSという形で共有し、知的活動を累積型で残す取組みの推進
- ・ ソフト開発者のスキルをオープンにし、グローバルに評価される開発能力や技術伝達能力が向上する取組みの推進

### 4 組込みシステム部会

組込みシステム部会は、6 月に GE Linux Forum 設立から 10 年目を迎えるのに併せて、情報家電領域で以下のような OSS 利活用の展開をまとめます。

- ・ どのようなことを OSS から会得したか
- ・ 今後さらなる利活用を進めるのに対する課題やコミュニティ連携の発展について

また、急速に伸長する他国企業のコミュニティへの貢献レベルアップの影響について評価を進め、必要な提言をまとめます。

■日本 OSS 推進フォーラムに関するお問い合わせ先  
日本 OSS 推進フォーラム 事務局担当  
info@ossforum.jp

## 日本 OSS 推進フォーラムについて

## 1. 目的

Linux を始めとするオープンソースソフトウェア（OSS）は、企業・大学等の情報システムへの導入や組込みシステムでの活用が進展しつつありますが、ユーザーが安心して利用するための技術上・制度上の課題も指摘されています。

本フォーラムでは、我が国の情報システムのユーザー、ベンダー、学識経験者の有識者が参集し、OSS の活用上の課題について自由な立場で議論し、課題解決に向けての取組みを行っていきます。

## 2. 体制（2013 年度）

## 代表幹事

栗島 聡 株式会社 NTT データ 代表取締役常務執行役員

## 幹事団

石原 邦夫 一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会 会長  
 （東京海上日動火災保険株式会社取締役会長）  
 佐久間 嘉一郎 株式会社日立製作所 執行役常務  
 佐相 秀幸 富士通株式会社 代表取締役副社長  
 矢野 薫 日本電気株式会社 取締役会長

## 顧問団

大久保 順 日本オラクル株式会社 テクノロジー製品技術本部長  
 鹿島 亨 株式会社 SRA 代表取締役社長  
 川口 浩幸 株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 代表取締役社長  
 喜多 伸夫 サイオステクノロジー株式会社 代表取締役社長  
 國井 利泰 東京大学 名誉教授  
 久保田 宏明 東京ガス株式会社 執行役員  
 関口 智嗣 独立行政法人産業技術総合研究所 情報通信・エレクトロニクス分野 副研究統括  
 中鉢 良治 ソニー株式会社 取締役代表執行役副会長  
 徳田 英幸 慶應義塾大学 環境情報学部 教授  
 仲田 雄作 独立行政法人情報処理推進機構 理事  
 成井 弦 特定非営利活動法人エルピーアイジャパン 理事長  
 廣川 裕司 レッドハット株式会社 代表取締役社長  
 福安 徳晃 The Linux Foundation ジャパンディレクター  
 保科 剛 日本ユニシス株式会社 最高技術責任者  
 宮部 義幸 パナソニック株式会社 常務取締役  
 吉田 透 新日鉄住金ソリューションズ株式会社 取締役副社長

## ステアリング・コミッティ座長

吉田 正敏 富士通株式会社 プラットフォーム技術本部 チーフストラテジスト

## 事務局

株式会社国際開発センター

2013 年 3 月 19 日付、五十音順

3. 活動内容

定期的に（年に1回程度）幹事団が中心となって、顧問団のメンバとともに「日本 OSS 推進フォーラム幹事団・顧問団会合」を開催します。本フォーラムでは、我が国で OSS を有効な選択肢として活用していくために必要な技術的課題、制度的課題について自由な意見交換を行います。

4. 組織図（2013年3月19日 現在）

## 日本OSS推進フォーラム体制図(2013/03)

